

実りある秋に～2学期のスタートにあたり～

朝夕がめっきり涼しくなり、秋の気配を感じられるようになってきました。

2学期がスタートし、学校に響きわたる子ども達の声が心地よく聞こえています。

さて、2学期のスタートにあたり、始業式に「実りある秋」にしようという話をしました。夏休みを過ごした子ども達にとって、9月からの2学期は長く感じられるものと思いますが、1学期からコツコツ積み重ねた様々な活動が実を結んで成果を発揮する時期でもあります。

4月からの学習を継続することで、担任の先生とのやりとりがスムーズになり、習った勉強が頭の中に入ってきたり、どんなことを考えたらよいかわかったりして学びがどんどん深まるようになります。

また、自分の仕事に責任をもち、最後までやりきろうとしたり、周りの人が活躍して仕事をしているとすごいなあと素直に認めたりできる時期でもあります。

さらに、いろいろな行事を通して、人前で話したり挨拶したりする経験も多くなってきます。そして、だんだんと人前で自分の考えを伝える力も伸びてくる時期です。

このような子ども達がしっかりと伸びる(実る)時期を支えるためにも、子ども達の一つ一つのがんばっている活動をしっかりと「学校」「家庭」「地域」で褒めていきましょう。そして、できなくて悩んだり苦しんでいたら、見守ったり、そっと優しい声かけをしたりしていただけたら幸いです。そして、2学期終わりには、大きな実(力)をつけることができるように、ご協力をいただきたいと思います。

がんばれ！神石小学校の子ども達！！

校長 田丸 栄